

松山市民病院でCT検査を受けて頂く

患者さんへ

一般に私たちが1年間に被ばくする自然放射線量は約2.4mSvと言われており、CT検査にともなう被ばく量は、撮影部位(頭部・胸部・腹部・全身など)や撮影方法により異なりますが、一般的に1回あたり5-30mSv程度です。CT検査に限らず、医療行為には必ずメリット・デメリットが生じます。

CT検査は、他の放射線検査に比べると被ばく線量は高い部類に入りますが、他の放射線検査では得られない詳細な形態画像を得ることが可能な検査です。

検査をオーダーする医師は診療上その検査が必要かどうか(正当化)の判断をし、診療放射線技師はより低い線量でより質の高い画像を提供する(最適化)ことを常に心掛けています。

基本的に健康被害をもたらす被ばく線量ではありませんが、不安なことやわからないことがありましたら、遠慮なくご相談ください。